

令和4年12月市議会定例会議

# 建設水道常任委員会資料

## 目次

### 【議案第128号 令和4年度福島市一般会計補正予算中、建設部所管分】

- 道路保全課
  - ・土木費 道路橋りょう費  
道路維持費 …… P. 2、3
- 河川課
  - ・土木費 河川費  
河川維持費 …… P. 4
  - 位置図 …… P. 5
  - 水資源対策費 …… P. 6

### 【議案第147号 令和4年度福島市一般会計補正予算中、建設部所管分】

- 道路保全課
  - ・土木費 道路橋りょう費  
交通安全施設整備費 …… P. 7
  - 位置図 …… P. 8
  - 道路維持費 …… P. 9
  - 位置図 …… P. 10
- 道路建設課
  - ・土木費 道路橋りょう費  
道路新設改良費 …… P. 11、12
  - 位置図 …… P. 13～16
  - ・都市計画費  
街路事業費 …… P. 17、18
  - 位置図 …… P. 19～21

### 【報告第24号 専決処分報告の件】

- 道路保全課
  - ・専決第25号 損害賠償の額の決定並びに和解の件 …… P. 22

## 建設部

8款 土木費 2項 道路橋りょう費

(単位：千円)

目 細目	補正前の額	補正額	計	補正額の財源内訳				説明
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
3 道路維持費	1,221,893	38,473	1,260,366	-	44,700	-	△ 6,227	補正予算説明書 歳入 P. 14 歳出 P. 19
道路維持費	1,070,017	28,473	1,098,490	-	-	-	28,473	
復興事業費	40,876	10,000	50,876	-	44,700	-	△ 34,700	

道路維持費

○ 道路維持管理費 9,198 千円

今般の世界情勢の影響により、原油価格・物価高騰が著しく進行していることから、維持補修センターで所管する車両等の燃料費及び融雪装置ほか道路施設に係る光熱水費について、追加経費を計上するもの。

区分	事業費内訳			財源内訳			
	燃料費	光熱水費	計	国・県	起債	その他	一般財源
現計	5,791	24,394	30,185	-	-	-	30,185
実施	6,310	33,073	39,383	-	-	-	39,383
補正	519	8,679	9,198	-	-	-	9,198

○ 街灯維持費 19,275 千円

今般の世界情勢の影響により、原油価格・物価高騰が著しく進行していることから、街路灯・照明灯等に係る光熱水費について、追加経費を計上するもの。

また、脱炭素社会の実現を目指した気候変動対策に取り組むとともに省資源・省エネルギーの推進を図るため、市道の街路灯を蛍光灯からLED灯へ移行することから、蛍光灯の修繕料を減額するもの。

区分	事業費内訳			財源内訳			
	光熱水費	需用費 修繕料	計	国・県	起債	その他	一般財源
現計	97,388	16,416	113,804	-	-	-	113,804
実施	126,663	6,416	133,079	-	-	-	133,079
補正	29,275	△ 10,000	19,275	-	-	-	19,275

8款 土木費 2項 道路橋りょう費

(単位：千円)

復興事業費

○ 街路灯LED化推進事業費 10,000 千円

脱炭素社会の実現を目指した気候変動対策に取り組むとともに省資源・省エネルギーの推進を図るため、市道の街路灯を蛍光灯からLED灯への移行を推進することにより、消費電力の低減と灯具の長寿命化を図るとともに、公共施設等適正管理推進事業債を活用することにより、脱炭素社会の実現に向けスピードアップを図るもの。

区分	事業費内訳		財源内訳			
	需用費 修繕料	計	国・県	起債	その他	一般財源
現 計	39,752	39,752	-	-	-	39,752
実 施	49,752	49,752	-	44,700	-	5,052
補 正	10,000	10,000	-	44,700	-	△ 34,700

8款 土木費 3項 河川費

目 細目	補正前の額	補正額	計	補正額の財源内訳				説明
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
2 河川維持費	75,814	40,000	115,814	-	40,000	-	-	〔 補正予算説明書 〕 歳入 P. 14 歳出 P. 19
河川災害緊急対策事業費	-	40,000	40,000	-	40,000	-	-	

○ 河川土砂浚渫事業費（河川土砂浚渫事業）

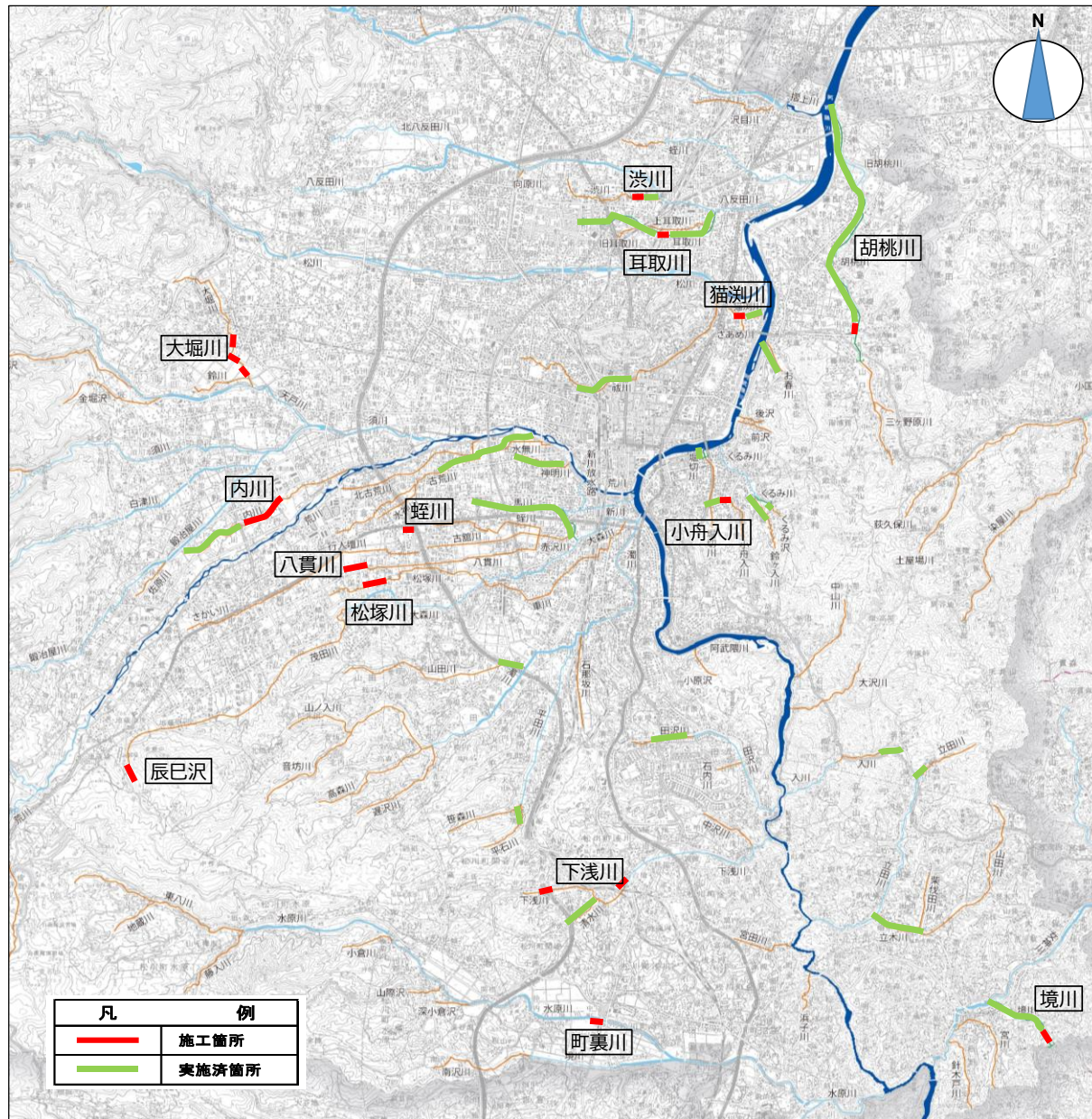
市で管理する準用河川、普通河川について、緊急浚渫推進事業債を活用し、土砂浚渫・伐木等を計画的に行うことで、河川等の適切な維持管理を図り、浸水対策及び環境保全を行う。

事業実施箇所

No	地区	河川名	事業内容		事業費 (千円)
			数量	内容	
1	本庁	普通河川 猫淵川	L=50.0m	土砂浚渫 伐木等	1,000
2	渡利	普通河川 小舟入川	L=30.0m		1,000
3	東部	準用河川 胡桃川	L=100.0m		2,000
4	北信	準用河川 耳取川	L=300.0m		3,000
5	北信	普通河川 渋川	L=400.0m		5,000
6	西	普通河川 辰巳沢	L=200.0m		3,000
7	飯野	普通河川 境川	L=120.0m		4,000

No	地区	河川名	事業内容		事業費 (千円)
			数量	内容	
8	松川	普通河川 下浅川	L=75.0m	土砂浚渫 伐木等	4,000
9	松川	普通河川 町裏川	L=60.0m		2,000
10	信夫	普通河川 八貫川	L=360.0m		2,500
11	信夫	普通河川 松塚川	L=360.0m		1,500
12	信夫	普通河川 蛭川	L=170.0m		1,000
13	吾妻	普通河川 内川	L=500.0m		5,000
14	吾妻	普通河川 大堀川	L=190.0m		5,000

# 河川土砂浚渫事業 位置図



河川土砂浚渫 実施状況  
馬川



古荒川



8款 土木費 3項 河川費

(単位：千円)

目 細目	補正前の額	補正額	計	補正額の財源内訳				説 明
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
4 水資源対策費	65,315	3,333	68,648	-	-	-	3,333	〔 補正予算説明書 歳出 P. 19 〕
茂庭広瀬公園施設管理費	41,526	3,333	44,859	-	-	-	3,333	

○ もにわの湯管理費 2,814 千円

今般の世界情勢の影響により原油価格や物価の高騰が著しく進行していることから、もにわの湯における加熱ボイラーの燃料費及び施設の電気料金等に係る光熱水費について、追加経費を計上するもの。

区分	事業費内訳			財源内訳			
	燃料費	光熱水費	計	国・県	起債	その他	一般財源
現 計	7,162	6,200	13,362	-	-	-	13,362
実 施	8,355	7,821	16,176	-	-	-	16,176
補 正	1,193	1,621	2,814	-	-	-	2,814

○ 茂庭ふるさと館管理費 519 千円

今般の世界情勢の影響により原油価格や物価の高騰が著しく進行していることから、茂庭ふるさと館の電気料金等に係る光熱水費について、追加経費を計上するもの。

区分	事業費内訳		財源内訳			
	光熱水費	計	国・県	起債	その他	一般財源
現 計	1,224	1,224	-	-	-	1,224
実 施	1,743	1,743	-	-	-	1,743
補 正	519	519	-	-	-	519

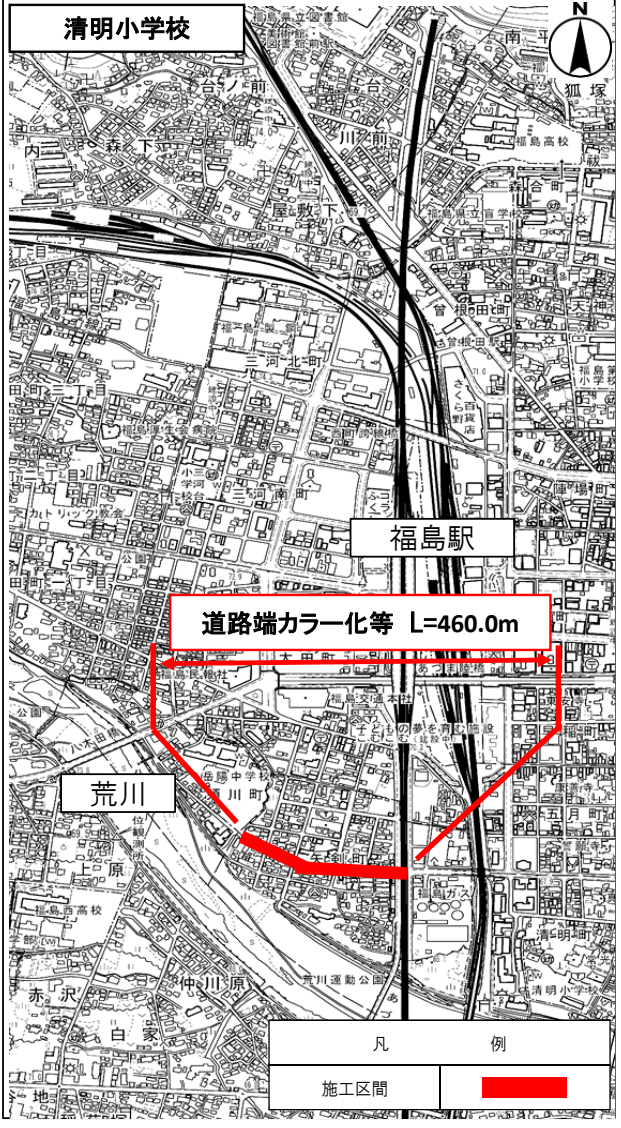
目 細 目	補正前の額	補正額	計	補正額の財源内訳				説 明
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
2 交通安全施設整備費	117,065	10,000	127,065	5,500	4,500	-	-	<div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-top: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; padding: 5px;">                     補正予算説明書(追加)                      歳入 P. 5、6                      歳出 P. 18                 </div>
交通安全施設整備国庫補助事業費	-	10,000	10,000	5,500	4,500	-	-	

○通学路安全対策事業費（総合経済対策） 10,000 千円

令和3年6月末、千葉県八街市において、見通しの良い直線道路で下校中の児童の列にトラックが衝突する交通事故が発生したことを受け、通学路の緊急合同点検を実施しヒヤリハットの事例があった箇所、保護者、見守り活動者、地域住民等から改善要請があった危険個所について、児童生徒が安心して通学ができる環境づくりのスピードアップを図るため、国の補正予算を活用し実施するもの。

区分	事業費内訳		財源内訳				摘 要
	工事請負費	計	国・県	起 債	その他	一般財源	
現計予算	-	-	-	-	-	-	
実 施	10,000	10,000	5,500	4,500	-	-	
補 正	10,000	10,000	5,500	4,500	-	-	位置図 資料 P. 8

# 通学路安全対策事業位置図





目 細 目	補正前の額	補正額	計	補正額の財源内訳				説 明
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
3 道路維持費	1,260,366	13,178	1,273,544	6,555	6,500	-	123	<div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-top: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; padding: 5px;">                     補正予算説明書(追加)                      歳入 P.5、6                      歳出 P.18                 </div>
防災・安全交付金事業費	111,000	13,110	124,110	6,555	6,500	-	55	
道路維持費	1,098,490	68	1,098,558	-	-	-	68	

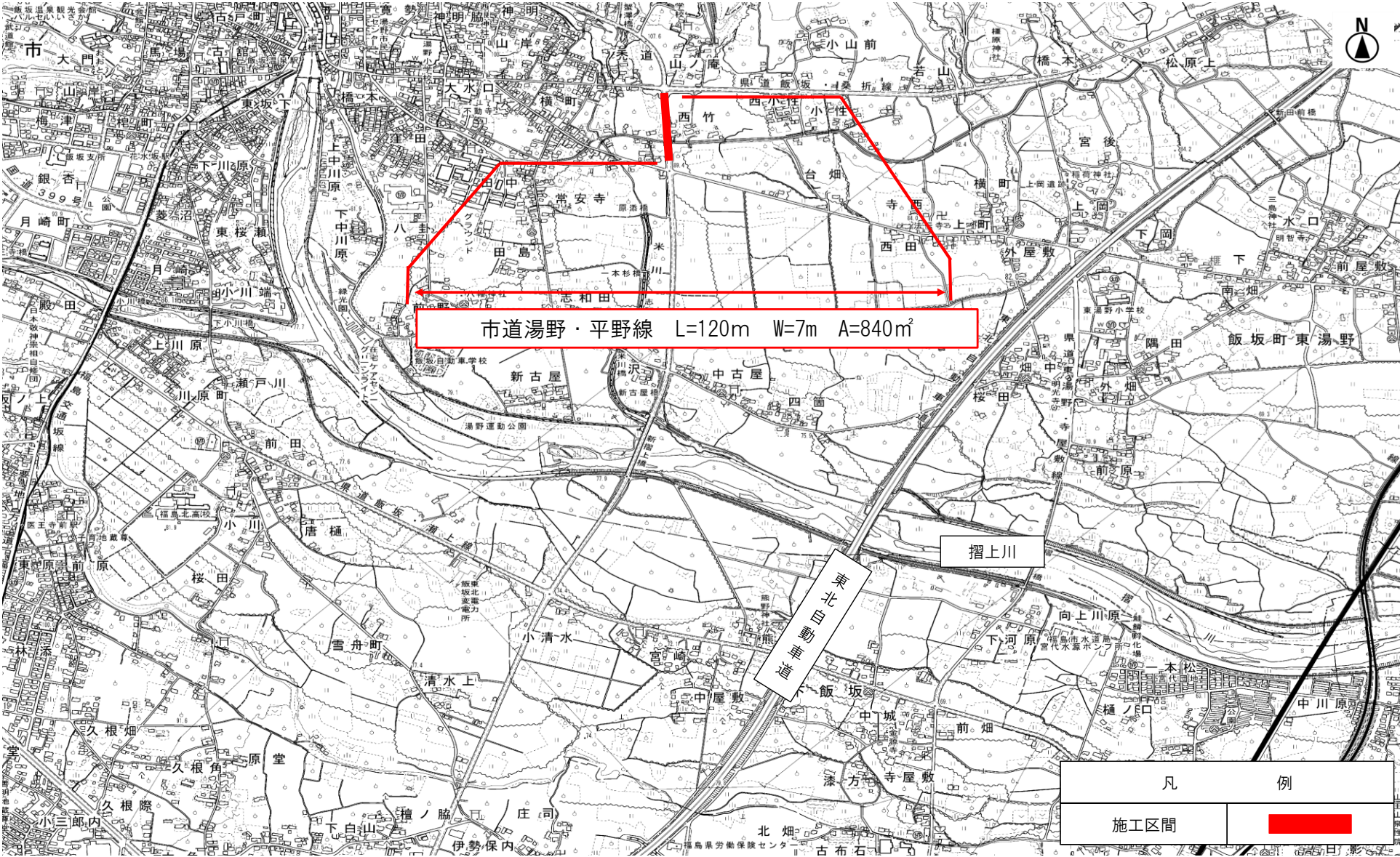
防災・安全交付金事業費

○舗装修繕事業費 (総合経済対策) 13,110 千円

国の「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」に基づき、定期点検等により修繕が必要と判断された防災上重要な道路における舗装工事を、国の補正予算を活用し実施するもの。

区分	事業費内訳			財源内訳				摘 要
	委託料	工事請負費	計	国・県	起 債	その他	一般財源	
現計予算	4,000	66,000	70,000	35,000	31,500	-	3,500	
実 施	4,000	79,110	83,110	41,555	38,000	-	3,555	
補 正	-	13,110	13,110	6,555	6,500	-	55	位置図 資料 P.10

# 市道湯野・平野線 舗装修繕事業位置図



8款 土木費 2項 道路橋りょう費

目 細目	補正前の額	補正額	計	補正額の財源内訳				説明
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
4 道路新設改良費	547,955	43,224	591,179	23,442	19,600	-	182	補正予算説明書(追加) 歳入 P.5、6 歳出 P.18
社会資本整備総合交付金事業費	188,500	43,224	231,724	23,442	19,600	-	182	

○ 鳥川大笹生線改良工事費（総合経済対策） 6,140 千円

本路線は、福島大笹生 I C や道の駅ふくしま、福島おおぞそうインター工業団地に隣接し、本市の経済・産業・観光を支える重要な幹線道路であることから、事業の進捗を図り、早期完成を目指すため国の補正予算を活用し経費を追加するもの。

《事業費》

(単位：千円)

区分	事業費	事業費内訳				財源内訳			
		工事費	用地費	補償費	委託料	国・県	地方債	その他	一般
現計	-	-	-	-	-	-	-	-	-
実施	6,140	6,140	-	-	-	3,070	3,000	-	70
補正	6,140	6,140	-	-	-	3,070	3,000	-	70

《補正予算による事業内容》

区分	事業内訳
現計	-
実施	改良工 40m
補正	改良工 40m

○ 鳥川大笹生線（佐倉下工区）改良工事費（総合経済対策） 484 千円

本交差点は、主に佐倉工業団地・佐倉西工業団地の物流ルートとして利用されているが、曲線半径が小さく大型車両の通行に支障を来していることから、早期に交差点の改良工事を実施し改善を図るため、国の補正予算を活用し経費を追加するもの。

《事業費》

(単位：千円)

区分	事業費	事業費内訳				財源内訳			
		工事費	用地費	補償費	委託料	国・県	地方債	その他	一般
現計	-	-	-	-	-	-	-	-	-
実施	484	-	-	-	484	242	200	-	42
補正	484	-	-	-	484	242	200	-	42

《補正予算による事業内容》

区分	事業内訳
現計	-
実施	測量 1式
補正	測量 1式

8款 土木費 2項 道路橋りょう費

○ 南町佐倉下線改良工事費（総合経済対策） 10,000 千円

本路線は吉井田小学校の通学路であるが、朝夕の通学時間帯に慢性的な渋滞が発生しており、後続の直進車が路肩を走行するなど、歩行者等の安全な通行に支障を来していることから、早期に安全かつ快適な歩行空間を確保するため、国の補正予算を活用し経費を追加するもの。

《事業費》

(単位：千円)

区 分	事業費	事業費内訳				財源内訳			
		工事費	用地費	補償費	委託料	国・県	地方債	その他	一 般
現 計	-	-	-	-	-	-	-	-	-
実 施	10,000	-	-	-	10,000	5,500	4,500	-	-
補 正	10,000	-	-	-	10,000	5,500	4,500	-	-

《補正予算による事業内容》

区 分	事業内訳
現 計	-
実 施	測量設計 1式
補 正	測量設計 1式

○ 杉妻町御山線（霞町工区）改良工事費（総合経済対策） 26,600 千円

本路線は、市役所、保健福祉センター、福島県庁、NCVふくしまアリーナ等にアクセスするための緊急輸送路に指定されており、災害時に備え早期に完成する必要があることから、事業の進捗を図るため国の補正予算を活用し経費を追加するもの。

《事業費》

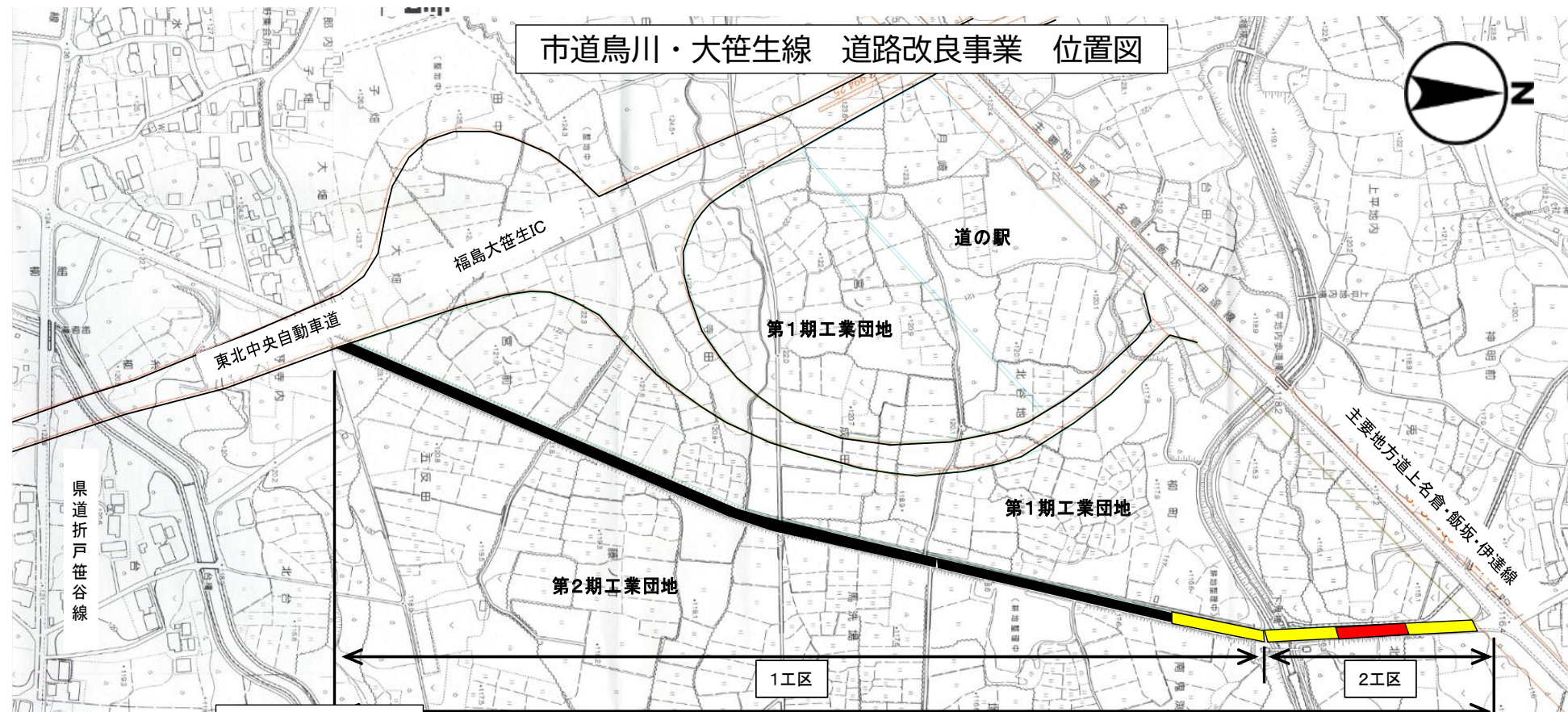
(単位：千円)

区 分	事業費	事業費内訳				財源内訳			
		工事費	用地費	補償費	委託料	国・県	地方債	その他	一 般
現 計	-	-	-	-	-	-	-	-	-
実 施	26,600	-	-	-	26,600	14,630	11,900	-	70
補 正	26,600	-	-	-	26,600	14,630	11,900	-	70

《補正予算による事業内容》

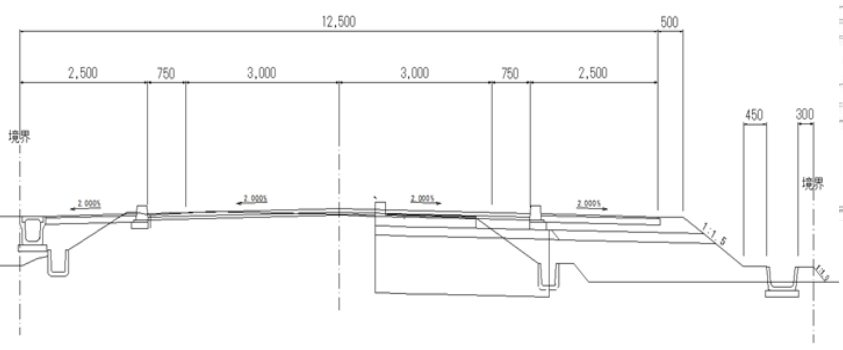
区 分	事業内訳
現 計	-
実 施	測量設計 1式
補 正	測量設計 1式

市道鳥川・大笹生線 道路改良事業 位置図



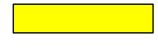


標準断面図

全体計画 L=945m W=12.5m



区分	事業内訳
補正	改良工 40m

凡例	
	施行区間
	過年度 施行済
	次年度以降 施行予定

# 市道鳥川・大笹生線（佐倉下工区）道路改良事業 位置図



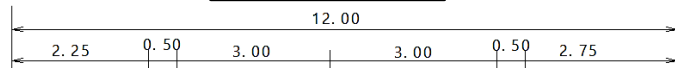
全体計画 交差点改良工 N=1箇所

日東紡績福島第二工場

佐倉工業団地

印刷福島民報

標準横断面



- 表層工 (再生密粒度20F アスコン) t=5cm
- 基層工 (再生密粒度20 アスコン) t=5cm
- 上層路盤工 (粒調砕石 M40) t=15cm
- 下層路盤工 (再生骨材 RC-40) t=15cm
- 路床改良工 (安定処理) t=70cm

- 砂瀝表層工 (再生細粒度13アスコン) t=3cm
- 快速路盤工 (再生骨材 RC-40) t=10cm

区分	事業内訳
補正	測量 1式

凡例	
<span style="display: inline-block; width: 20px; height: 10px; background-color: red; border: 1px solid black;"></span>	施行区間
<span style="display: inline-block; width: 20px; height: 10px; background-color: black; border: 1px solid black;"></span>	過年度 施行済
<span style="display: inline-block; width: 20px; height: 10px; background-color: yellow; border: 1px solid black;"></span>	次年度以降 施行予定

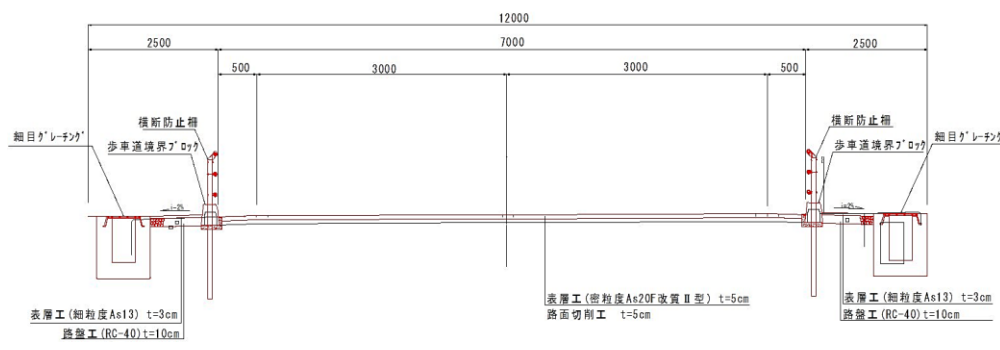


市道 南町・佐倉下線 道路改良事業 位置図



全体計画 L=270m W=12.0m

標準横断面図



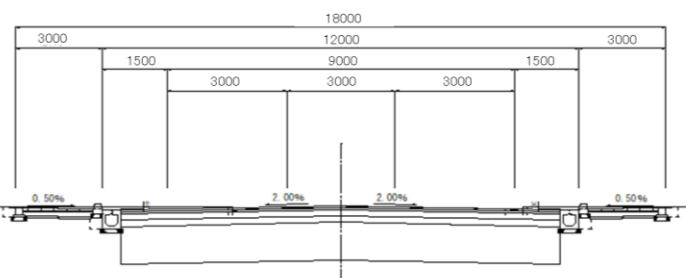
区分	事業内訳
補正	測量設計 1式

凡例	
	施行区間
	過年度 施行済
	次年度以降 施行予定

市道 杉妻町・御山線 (霞町工区) 道路改良事業 位置図



標準横断面  
交差点部



区分	事業内訳
補正	測量設計 1式

凡例	
<span style="display:inline-block; width:20px; height:10px; background-color:red;"></span>	施行区間
<span style="display:inline-block; width:20px; height:10px; background-color:black;"></span>	過年度 施行済
<span style="display:inline-block; width:20px; height:10px; background-color:yellow;"></span>	次年度以降 施行予定



8款 土木費 4項 都市計画費

目 細目	補正前の額	補正額	計	補正額の財源内訳				説明
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
3 街路事業費	405,031	122,037	527,068	60,930	60,800	-	307	補正予算説明書(追加) 歳入 P.5、6 歳出 P.19、20
社会資本整備総合交付金事業費	232,300	120,450	352,750	60,930	59,400	-	120	
街路整備市単事業費	148,106	137	148,243	-	-	-	137	
県事業負担金	24,625	1,450	26,075	-	1,400	-	50	

◇社会資本整備総合交付金事業費

○ 太平寺岡部線（御山町工区）改良工事費（総合経済対策） 106,350 千円

本路線は、国道13号と国道4号を連絡する中心市街地北部の東西を結ぶ幹線道路であり、事業の進捗を図るため国の補正予算を活用し経費を追加するもの。

《事業費》

(単位：千円)

区 分	事業費	事業費内訳				財源内訳			
		工事費	用地費	補償費	委託料	国・県	地方債	その他	一 般
現 計	-	-	-	-	-	-	-	-	-
実 施	106,350	106,350	-	-	-	53,175	53,100	-	75
補 正	106,350	106,350	-	-	-	53,175	53,100	-	75

《補正予算による事業内容》

区 分	事業内訳
現 計	-
実 施	改良工 90m
補 正	改良工 90m

○ 曾根田町桜木町線（宮下町工区）改良工事費（総合経済対策） 14,100 千円

本路線は、国道13号から市道杉妻町・御山線（通称：県庁通り）を結ぶ市中心部の東西の重要な幹線道路であり、事業の進捗を図るため国の補正予算を活用し経費を追加するもの。

《事業費》

(単位：千円)

区 分	事業費	事業費内訳				財源内訳			
		工事費	用地費	補償費	委託料	国・県	地方債	その他	一 般
現 計	-	-	-	-	-	-	-	-	-
実 施	14,100	14,100	-	-	-	7,755	6,300	-	45
補 正	14,100	14,100	-	-	-	7,755	6,300	-	45

《補正予算による事業内容》

区 分	事業内訳
現 計	-
実 施	改良工 30m
補 正	改良工 30m

8款 土木費 4項 都市計画費

◇県事業負担金

○ 腰浜町町庭坂線改良工事費（総合経済対策） 1,450 千円

福島県で施行する土木建設事業経費について、国庫補助事業費の令和4年度補正予算に対応するため経費を追加するもの。

《事業費》

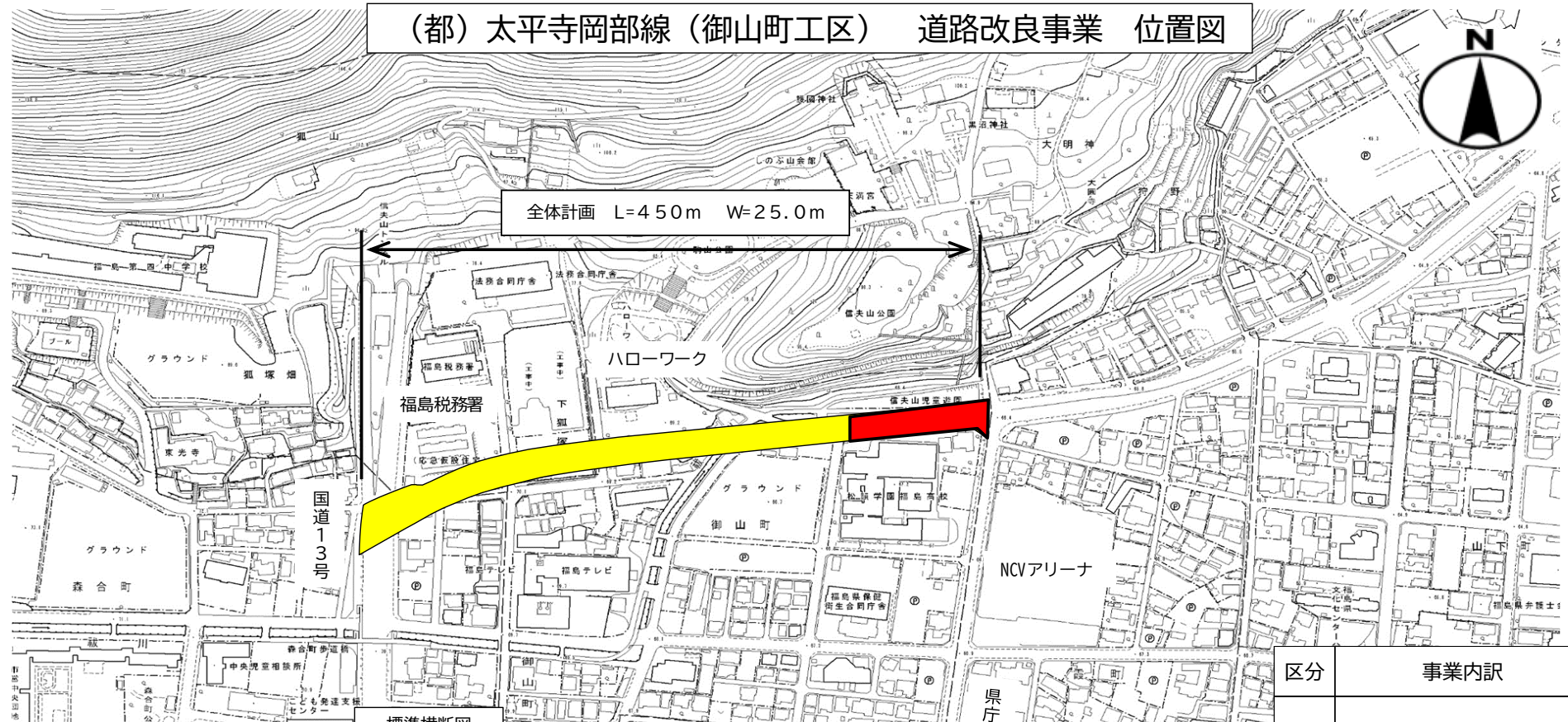
(単位：千円)

区 分	事業費	事業費内訳	財源内訳			
		負担金	国・県	地方債	その他	一 般
現 計	-	-	-	-	-	-
実 施	1,450	1,450	-	1,400	-	50
補 正	1,450	1,450	-	1,400	-	50

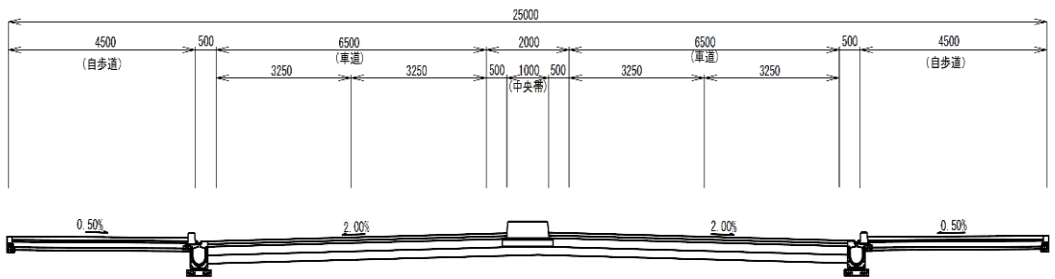
《補正予算による事業内容》

区 分	事業内訳
現 計	-
実 施	総合補償委託 1式、電線共同溝設計 1式
補 正	総合補償委託 1式、電線共同溝設計 1式

(都) 太平寺岡部線 (御山町工区) 道路改良事業 位置図



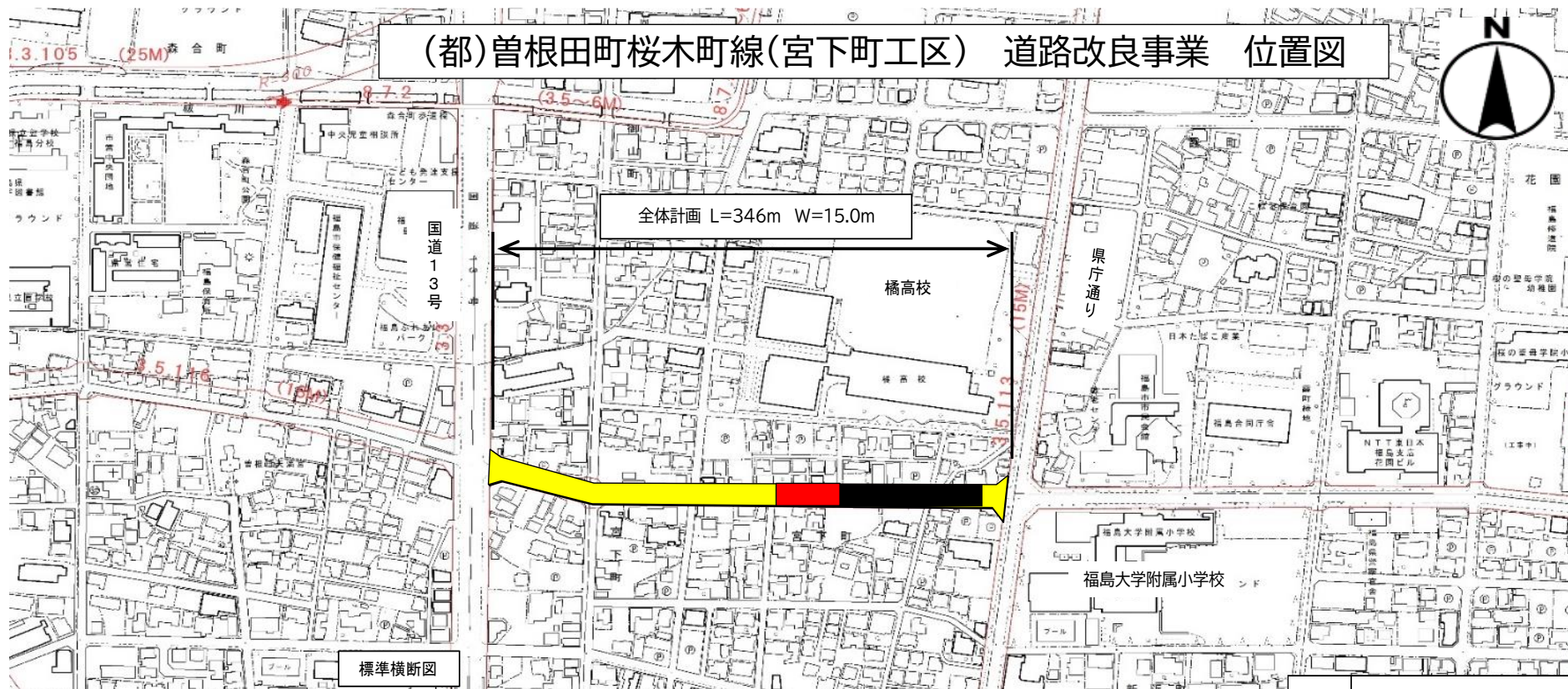
標準横断面



区分	事業内訳
補正	改良工 90m

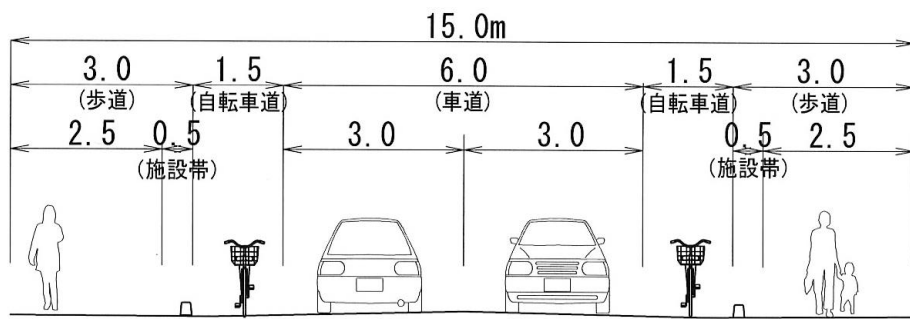
凡例	
	施行区間
	過年度 施行済
	次年度以降 施行予定

(都)曾根田町桜木町線(宮下町工区) 道路改良事業 位置図



全体計画 L=346m W=15.0m

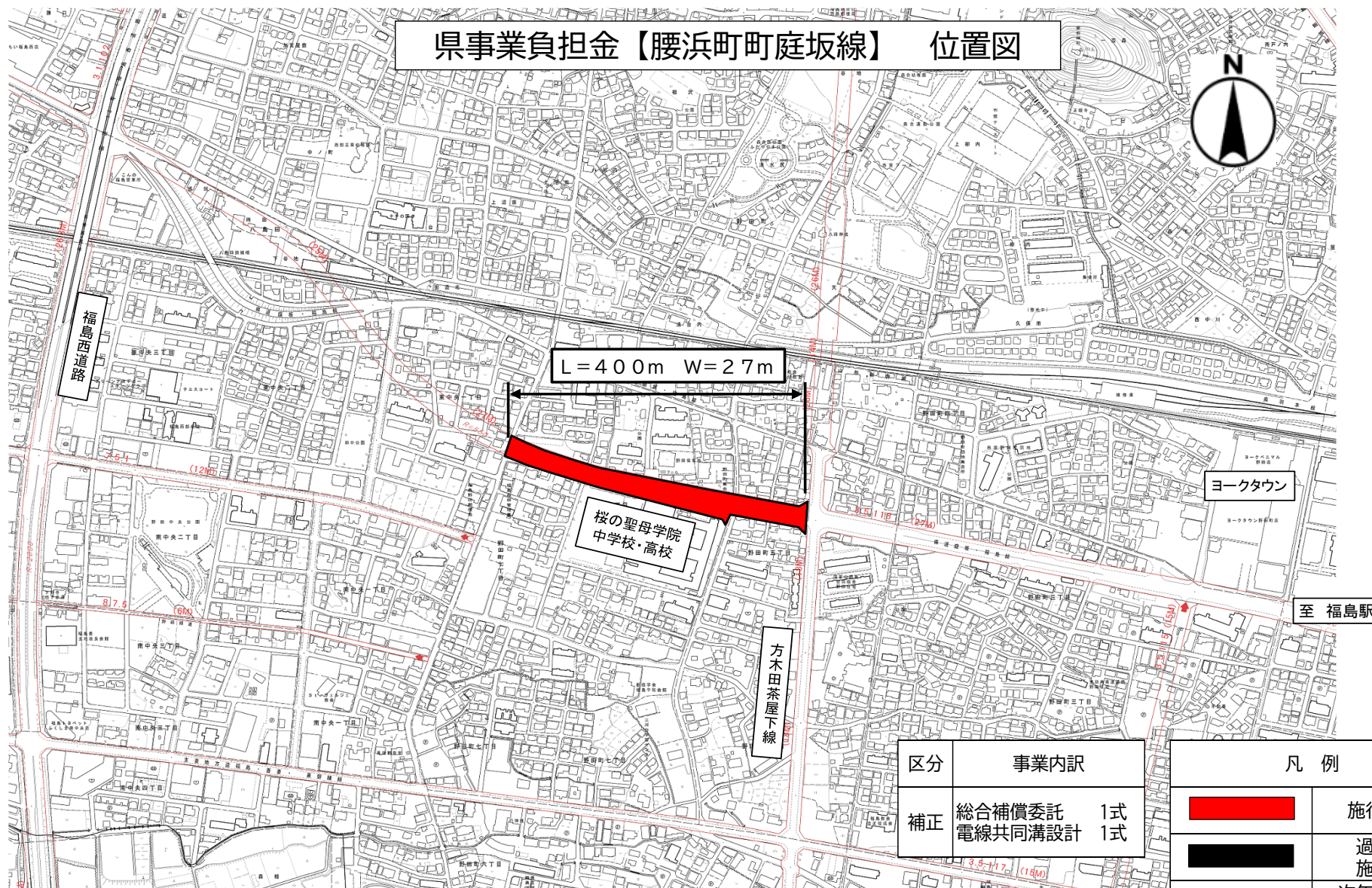
標準横断面



区分	事業内訳
補正	改良工 30m

凡例	
	施行区間
	過年度 施行済
	次年度以降 施行予定

県事業負担金【腰浜町町庭坂線】 位置図



L=400m W=27m




桜の聖母学院  
中学校・高校

方木田茶屋下線

ヨークタウン

至 福島駅

区分	事業内訳
補正	総合補償委託 1式 電線共同溝設計 1式

凡 例	
	施行区間
	過年度 施行済
	次年度以降 施行予定

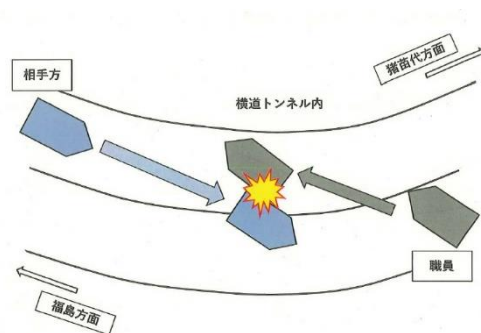
## 専決第25号 損害賠償の額の決定並びに和解の件

- 1 事故発生の日時 令和4年8月4日(木) 午前11時57分頃
- 2 事故状況等 道路保全課職員が前日からの大雨に伴う大雨警報対応のため、公用車(2tダンプ)による道路パトロール業務で国道115号横道トンネルを福島方面へ向かって走行中、下り坂で減速するためにブレーキをかけたところ、車体がスリップして斜め右を向きながら対向車線にはみ出し、ハンドル操作をしても反応がなく操縦不能となった。相手方もこちらの走行車線側へ避けようとしたが避けきれず、お互いの車両の左後方側面が接触した。
- 3 被害状況等
  - ・人身【相手側】(運転者) 頸椎捻挫、右肩挫傷  
(同乗者①) 検査のみ  
(同乗者②) 左肩部・左背部挫傷、左胸部打撲
  - 【市側】被害なし
  - ・物損【相手側】(車両損害) 車両左側面を中心に広範囲の破損
  - 【市側】(車両損害) 左側後方フェンダー破損、ホイール破損等

事故発生場所【位置図】



事故発生状況【平面図】



相手方車両



左側面を中心に  
広範囲の破損

公用車



左側後方フェンダー、  
ホイール等破損